市民ネットワークみはま
みはま まちづくり通信
2022 年秋　NO.109
編集・発行　市民ネットワークみはま
◎事務所
千葉市美浜区高洲 3 丁目 20-45　細矢ビル 403 号室
TEL/FAX　043-278-5005　E-mail mihama@chibanet.jp
HP　http://mihama5005.chiba.jp/
配布地域 美浜区　配布部数：50,000 部

心をつなぐ優しい街づくり

2023年4月千葉市議会議員選挙 候補予定者決定

くろさわいずみ
黒澤 和泉

市民ネットワークみはま副代表
1973 年千葉市生まれ（美浜区幕張西）
幕張西小学校、幕張西中学校卒業、東京学芸大学付属高等学校、東北大学工学部・大学院工学研究科を経て、アメリカジョージア工科大学大学院博士課程修了。工学博士。自動車部品会社で通訳後、医療通訳の資格取得。夫の海外勤務によりイギリス、アメリカ、ドイツに暮らす。日本に帰国後、PTA での活動を行い、2022 年千葉市社会教育委員。
趣味　水泳、映画鑑賞　　**千葉市美浜区打瀬在住**

ごあいさつ

日本全体の元気がなくなっている今、お互いを尊重し、助け合い、自由と楽しさを共有できる仕組みが必要だと思います。

それは社会的に困っている人に寄り添って助け合うだけでなく、安心できて居心地の良い場所（コミュニティ）を自分たちの周りに作りながら、近隣コミュニティ同士の連携の輪を広げることではないでしょうか。

この世界観はまさに市民ネットが目指すものでもあり、その一員としてこの活動を積極的に盛り上げたいと考え、市政にチャレンジすることを決意しました。

千葉市の皆さまと一緒に、心をつなぐ優しい街づくりに取り組んでいきたいと思います。　　黒澤 和泉

黒澤和泉が 20 年間、3 ヵ国で暮らした経験をお話しします。　**大人の学校**

「意外に知らない各国の生活事情 - ゴミ・子育て・学校…」
日時：11 月 17 日（木）10 時～ 12 時
会場：高洲コミュニティセンター 創作室
参加費無料　みはまネットにお申込みください

市議会傍聴記　黒澤和泉

松井さんの一般質問（裏面参照）を傍聴しました。プロジェクターが効果的に使われていました。

花見川サイクリングコースの案内表示改修の要望では、老朽化したコースの案内表示が写ったため、市の担当者が、感情の入った謝罪をしていたのが印象的でした。

通学路の安全対策の要望の際にも、市側で対策済みとしていながら、まだ大きな危険の残る箇所を、現場の写真を用いて指摘していました。見守りといった児童への対策だけでなく、土地開発計画当初からの安全策や自動車側を制限するスクールゾーンの導入などの対策も必要なことを、市に訴えることができたのではないかと感じました。

千葉市議会前にて
松井かよ子と黒澤和泉

また、若者から市民ネットワークに寄せられた稲毛海浜公園を SNS などでアピールする方法は、予算がなくてもアイデア次第で、千葉市の魅力を効果的に伝える方法があることを気づかせてくれるものでした。

市議会の決して大きくはない議場から、明るく楽しく広がっていく千葉市の未来を垣間見ることができました。

児童相談所にパンを届けるプロジェクト

2020 年秋から始まった「児童相談所にパンを届けるプロジェクト」は、多くの方から寄付をいただき、毎月子どもたちに届けることができています。

毎月のパン代以上にいただいた寄付を子どもたちのために使うため、児童相談所の方と相談をして、「夏のプレゼント」として、勉強やお絵かきに使うノートとおやつのゼリーを届けました。喜んでくれたらうれしいです。

戦争の話を聞かせてください 12

地域から平和をつくるために、体験談を聞き取りしています。ご連絡をお待ちしています。

ロシアのウクライナ攻撃に思う

終戦の一年くらい前、空襲がひどくなった東京から埼玉へ疎開し、電車を乗り継ぎ目白の女学校へ通っていました。一面の田園の中を走る電車から飛び降りて、車台の下の車輪の陰に隠れなければ、米軍の飛行機が田んぼすれすれまで降りてきて、電車の中や車台の下にいる私たちを機関銃で撃ってくるのです。ほんの数メートル先で機内の米兵の動きが見えるほどの近さでした。

米軍機がいなくなると、車輪の裏に隠れながらも怖いもの見たさで田んぼの向こうに見える小菅刑務所の上から爆弾がバラバラと撒かれ、下で炸裂するのを見て、なぜ爆弾は頭から落ちずに横に落ちるのだろうかと不思議に思っていたことを今でも思い出します。

今、ロシア機からばら撒かれる爆弾を見ながら、もうなかろうと思っていた戦争が、また子や孫の時代にももたらされるかもしれない災いに何もできないわが身がもどかしく思うばかりです。　　**高洲　田中秀子　91 歳**　＊体験記をお寄せいただきました

報告 8 月 24 日

大人の学校報告
障害のある方を地域全体で支える地域づくり

8 月 24 日（水）高洲コミュニティセンターにて、美浜区の「障害者基幹相談支援センター」の管理者の石野誠さんにお話を聞きました。

自己紹介に続き、真砂コミュニティセンター内にあるセンターの役割を話して下さいました。様々な相談を受け、地域活動支援センター（ディアフレンズ真砂など）とも連携し、地域全体で本人や家族を支える場所であることが分かりました。

相談内容として、昨年はコロナ禍の影響か、精神疾患のある方の相談が多かったそうです。各障害の特性の理解と支援など、とてもわかりやすいお話でした。障害の種類も様々で、それぞれが複雑に重なっているそうです。

偏見を持たず、まず受け止めることが大切です。センターの役割は素晴らしいのに、認知度が低いのでもっと多くの人に知ってもらい、活用出来たら良いと思いました。公民館などでの講座が、来年から開かれる予定だそうです。　　（高洲　古谷津）

ヘルプマークを見かけたら、思いやりの行動を！
内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に知らせることで、援助が得やすくなるよう、作成されたマークです。

次回は 11 月 17 日（木）「意外に知らない各国の生活事情」です。

市政相談
毎月 10 日
10：30 ～ 16：00（土日祝も含む）
「身近な問題を解決したい」などの相談に代理人（議員）や代理人経験者がお話を伺います。無料